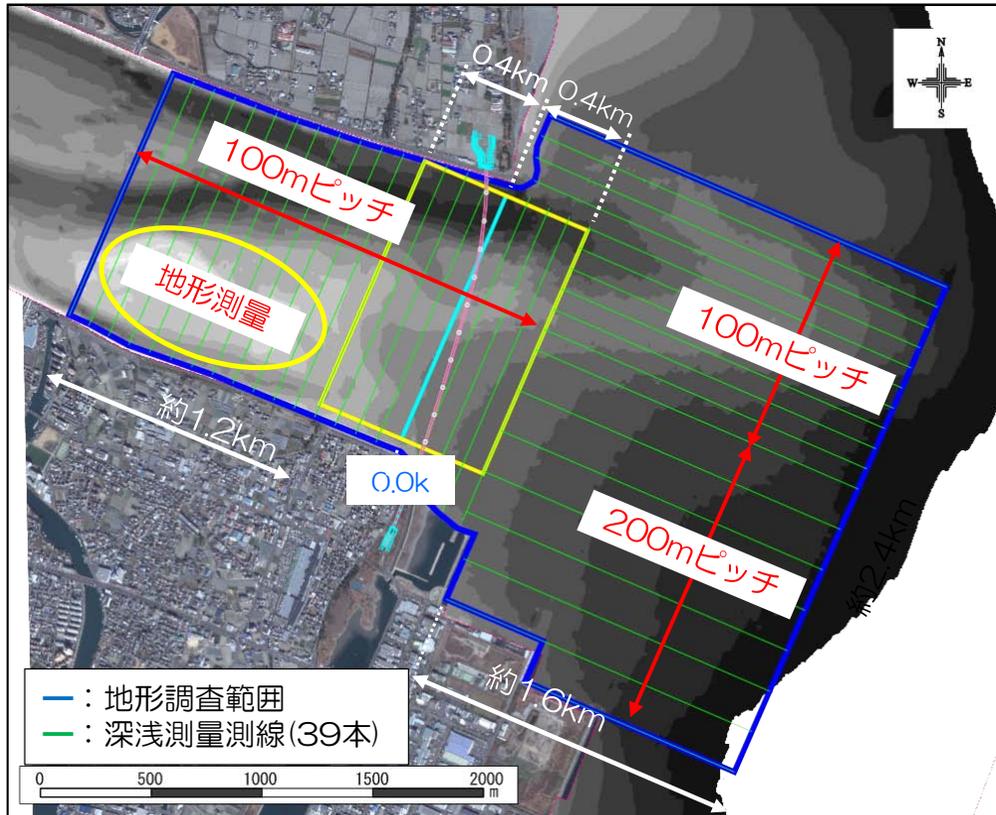


③地形調査（速報）

■調査範囲



■調査実施日

[H26.10調査]

- ・ 深浅測量 : 平成26年10月7日～9日
- ・ 航空レーザー測量 : 平成26年10月8日

[H27.6調査]

- ・ 深浅測量 : 平成27年6月1日～4日
- ・ 航空レーザー測量 : 平成27年6月1日

■第5回環境部会(H27.2.24)で報告した内容

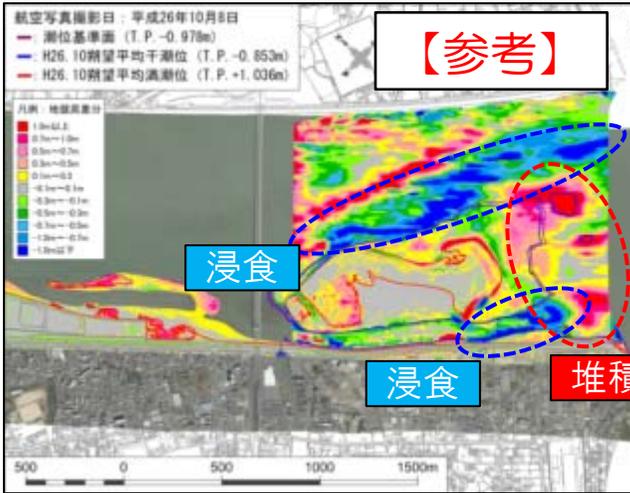
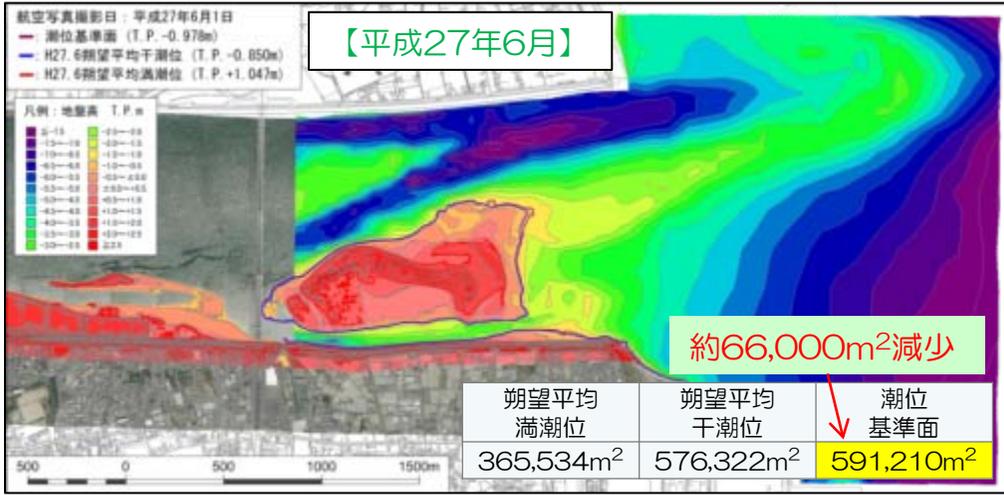
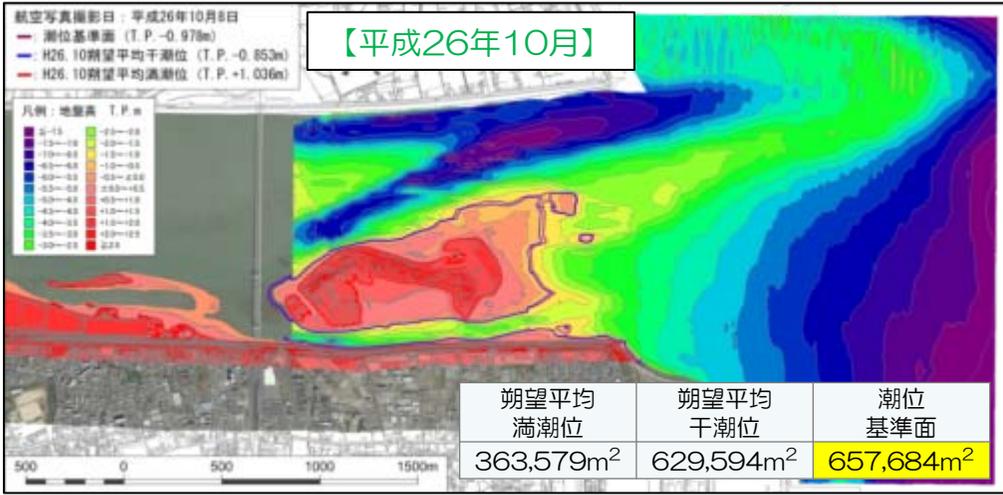
- ・ 環境モニタリング調査計画に基づいて調査をした結果、調査範囲の地形変化を把握していくために必要な地形図が作成されたと考えられる。
- ・ 渡河部周辺の地形は、自然環境において変動していることが推察される。
- ・ 渡河部周辺の地形は、自然環境において洗掘と堆積を繰り返している地形であることが推察される。

■ 地形調査の結果(速報) ～調査結果～

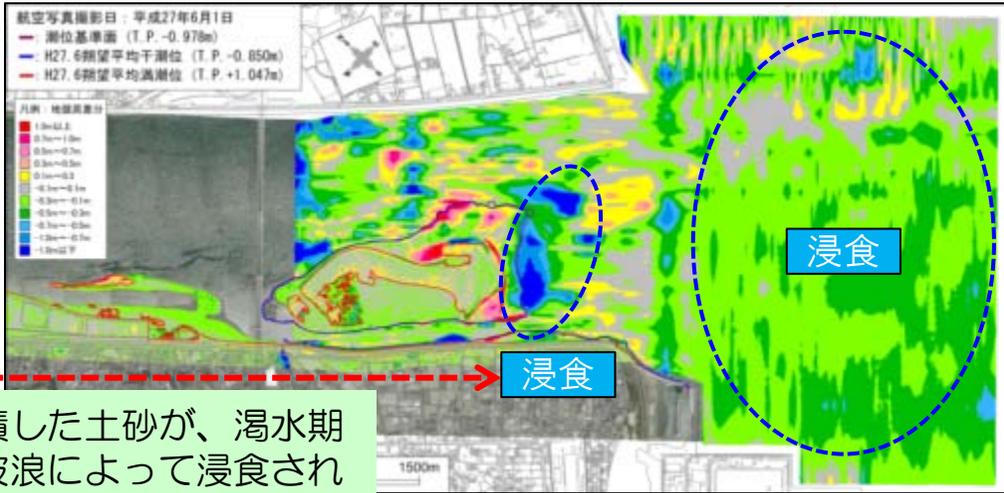


地形調査の結果を以下に示す。

- ①平成26年10月は、8月の出水の影響によって大きく地形が変化し、河口干潟東部の堆積、河口干潟北側と右岸みお筋の浸食が確認された。
- ②平成27年6月は、河口干潟東部が浸食され河口干潟の面積が縮小したこと、沖合は全体的に浸食されたことが確認された。



※注意
 地形差分図は、阿波しらさぎ大橋整備事業において、平成26年3月に実施した地形調査と、本調査の平成26年10月との差分図を示している。同事業では沖合を調査していないため、本事業と重複する範囲のみの差分図を参考として示した。



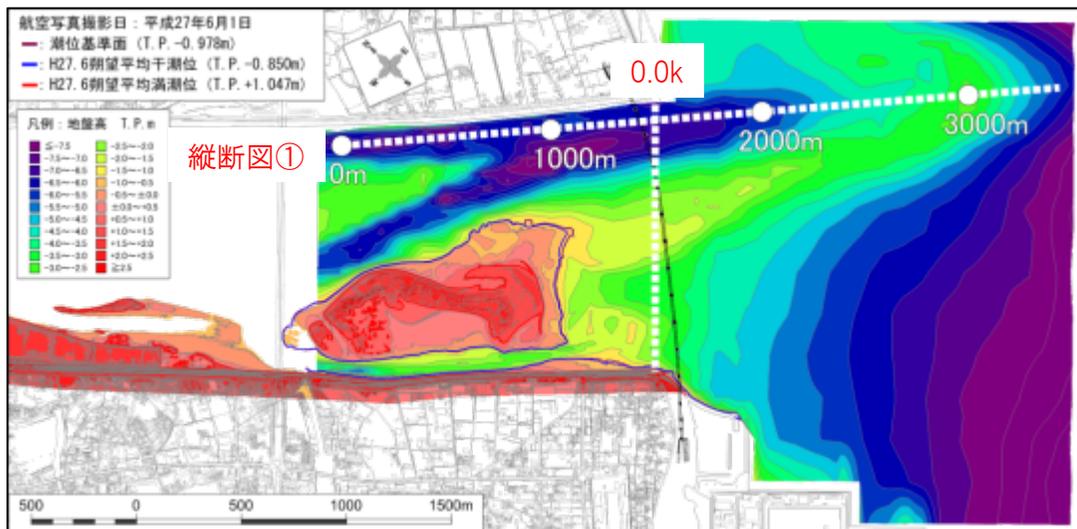
出水期に堆積した土砂が、湧水期の平常時の波浪によって浸食されたものと考えられる。



■ 地形調査の結果(速報) ～調査結果～



③横断線、縦断線で地形変化を確認すると、渡河部周辺、左岸のみお筋周辺では0.5～1.0m程度の地形変化が生じている。



地形調査の結果、環境モニタリング調査計画で示した調査方法で、調査範囲の地形変化を把握していくために必要な地形図が作成されたと考えられる。

※第5回環境部会報告と同様

